

広報 なががしま 5月号



高齢者コミュニティセンター完成

新築落成4月13日盛大に

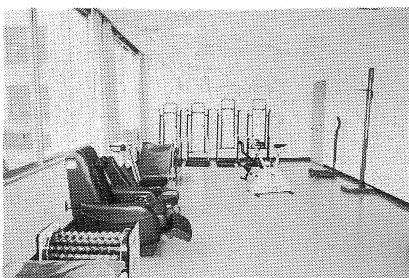
昨年十月以来、沖浦地区に工事を進めていた高齢者コミュニティセンターがこのほど完成。

四月十三日、同センターでお年寄りや関係者およそ七十人が集まって、神事および落成式典が盛大に行われました。

このコミュニティセンターは、高齢者の各種の相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーションの便宜、高齢者の融和および各世代相互の交流を深めることを目的に、原則として町内に在する六十歳以上の方に利用していただくことにしています。

これを拠点として、連帯感を深め、生きがいをつくれるとともに、お年寄りが地域づくりに参加していただき、コミュニティ活動に多いに役立ってほしいものです。

(電話) 公社2-2892・有線5196



機能回復訓練室

南予の経済拠点に

総合エネルギー基地の建設

昭和五十六年長浜町議会第一回定例会が、三月二十六日から三十日までの五日間の会期で開かれ、手造りの地方自治を旨とする五十六年度の当初予算が可決されて、長浜町行政の計画ができあがったほか、条例改正案など全部で三十二件いずれも原案通り可決。またこのほか同対策の充実に関する意見書一件を可決、陳情書など五件の報告案件が受理採扱

五十六年度施政方針要旨

はじめに

町長就任以来住民の皆さんの深い理解とご協力により、昭和五十五年の予算も円滑に、しかも適正確実に執行することができ、感謝にたえない。私が町長就任のとき表明した、町政運営の基本的理念である①町政の原理原則にの

つとめた秩序ある町政の推進②地域の活発な経済発展のための積極的な政治③町民世論を反映した公正な政治の三点を堅持し、昨年三月見直しを行い議決された長浜町振興計画基本構想を実現すべく、全力を傾注して町政推進をはかる決意であるが、政治も経済も生き残り、それに対応できる施策を行うこととした。

国内情勢の展望

今日の地方行政をめぐる情勢は極めて厳しく、変動も激しいものとなっている。

我が国の社会経済は、資源エネルギーの制約、経済成長の鈍化な

どに加えて、高齢化社会への移行、地域社会の構造的変化などが著しい変ぼうをとげようとしている。その中において地方財政も国と同様に大幅な収支不均衡の状態であり、速やかに財政の健全性を回復し、住民に直結する政治・経済の充実と、生活の安定を確保するための施策を推進すると共に、複雑

多様化して増大する行政需要に、適切に対応することを強く求められている。

時代の大きな流れは地方の時代へと大きく転回しており、かつての高度経済成長時代の成長・開発というテーマから環境、福祉、生活など住民の身近なものが大きな課題となってきた。住民に一番近い自治体を中心となり、役割を担ってゆかざるを得なくなり、地域にあったやり方を創意工夫し



町長二宮 述べる施政方針

ながら考えてゆかなければならない。

地方の時代、地域主義の時代は、地方の各地域がその恵まれた自然環境の歴史の中ではぐくまれた教育、文化、産業、社会等の特性を再確認し、個性ある地域づくりを進めることにほかならない。地方の時代で考えなければならぬことは、出かせぎにいかなくてもすみ、若い人も落ちついて定住でき、働ける場所を確保するよう真剣に考え、強力な施策をとっていかねばならないことである。

このような情勢の中で新年度を迎え、五十六年は地方自治体にとって責任の重い年になると思う。私は、町長として責任の重さを充分認識し、きびしい環境に対応するため、議会の皆さん方のご協力と町民各位のご理解とご協力を得

ながら、地方自治の原点をみつめ、自らの姿勢を正して町政を推進してゆきたい。

総合エネルギー基地建設

昭和四十七年に議決された長期振興計画基本構想が、近年の著しい経済の変化と社会情勢の推移により、昨年三月一部見直しを余儀なくされた。

開発構想は、十年一貫した重点施策であり、第一次産業が現状のように冷え込み、消費能力が低下し、商業もまた不振を極めておる現状をみる時、どうしても本事業を成功させなければならない。港湾整備・埋立造成・流通基地建設・生活環境施設の整備・漁港関連施設の建設等本町百年の大計というべき大プロジェクトであり、これは極めて困難である。国、県の合意を得て、西田先生や県のご指導により着々と計画を進めて参りたい。

この事業は、本町だけでなく南予一帯の経済拠点として、将来の地域発展に必ず貢献するであろうことを確信している。住民の皆さんのご理解とご協力を賜りたい。

総合振興計画と都市基本計画の策定

厳しい八〇年代の新しい市町村行政を推進するに当たっては、計



56年度諸案を審議する各議員

画行政の必要性が広く認識されるようになり、各地方自治体も総合計画についての関心が高まり、多くの市町村で策定を進めておるのが現状である。

本町としては、この計画を開発計画と切り離すことができないので、困難な点もあるが、開発を柱としバランスのとれた町政を進めるため、本年度はこれの完成をめざして作業を進めている。

生活環境の整備

地方公共団体の使命は、住民福祉の向上を図ることであり、豊かな生活環境や活力ある地域づくりを通じて、住民の生活が充実されるよう努めなければならない。今後の生活の向上を図るためには、生活空間の確保と整備が必要であ

り、運動施設、公園、街路、下水道などの整備を積極的に進めてゆることが大きな課題である。

伊予木材株式会社の敷地約七千七百平方メートルを土地開発公社で取得し、これを町が公社から十か年計画で買収し、町民運動場として整備してソフトボール、テニスコート、バレーコートを設置して、住民の皆さんに利用していただき、健康づくりに役立てていきたい。

本町の道路については、国道三七八号線も漸次改良が進み、県道沖浦・大洲線、長浜・保内線の改良についても県に強力に働きかけていきたい。町道の新設改良についても必要度の高いものから順次整備をしてゆく考えである。

公営住宅については、小浦地区にこれ以上建設できないので、大和地区に本年度十六戸の建設を計画しており、来年度更に十六戸を建設する計画である。

下水道事業については、前年度に引き続いて出海水道の新設を行う予定である。

集会所の建設は、大谷口地区と須沢地区に建設を計画しており、地の皆さんのコミュニケーションの醸成を図りたい。

テレビ難視聴対策は毎年取り組んできたが、昨年度白滝地区に愛媛テレビ、南海テレビの好意により中継局が建設されており、本年度も県補助による事業を計画している。

保健と福祉の向上

人が幸せに生きがいをもって生活していくために大切なことは、健康で過ごせることであり、自分の健康はお互いの自覚により、自己管理することが肝要である。最近人口の高齢化、栄養のアンバランス、運動不足などに伴い、各種成人病が増加し、大きな社会問題となっている。

各種健康診査、健康相談、健康教育のための講演会、研修会、健康づくりに関する知識普及、また教育委員会の行う各種スポーツ行事と連携して、町民が生涯を健康に生活できることを目標に健康づくりの推進を図ってゆきたい。

人口の高齢化が進んでおる現在、老人の生きがいをどのようにして確保するかが地域にとって一つの課題である。本町には、この三月完成した県下第一号の高齢者コミユニティセンターがあり、これを拠点として連帯感のある人間関係を育てると共に、老人パワーが地域づくりに役立つような生きがい確保の方法を、皆さんとともに考えてゆきたい。

農林・水産・商工業対策

農業

農業については、主幹作目であるみかんが現状のように落ち込んでおり、今後農協と緊密な連携をとりながら適切な援助をしてゆきたい。年次計画で要請のあった中

晩柑のカラーリング事業、高接更新育成事業、落葉果樹振興事業などを中心として、みかん農業の振興と経営の安定を図ってゆきたい。

林業については、林業構造改善事業として林道叶松・足山線の開設、タイヤシヨベルの購入などを計画しており、松喰虫跡地対策事業を進め、しいたけ生産の振興を図るとともに、森林組合の経営基盤の確立について考慮してゆきたい。

水産業については、沖浦、喜多灘、出海、青島の各漁港の早期完成をめざし、魚礁設置事業は、今後沿岸漁業構造改善事業による築いそ事業などを県と協議しながら、漁業の振興を図ってゆきたい。国道三七八号線の改良と喜多灘漁港の改修に伴い、今坊大谷口の漁業荷さばき所の建設も予定している。

商工業については、消費人口の減退や第一次産業不況の影響を受け低迷をつづけている今日、大型店の進出が決定し、前途はますます多難である。商工会においても商店の近代化促進を図るため、各種研修会や調査などを実施されており、町としても積極的に町振興の一環として配慮して、本年は本町商店街のカラー舗装を計画しており、商店街の近代化を図りたい。

教育施設の整備

と文化の振興

二か年継続事業で施工した長浜小学校の新築工事も、昭和五十五年間で終了したが、町内各小学校

には多くの残された整備事業があり、財政状況をみながら順次充実させてゆきたい。本年度は長浜小学校のプールと、喜多灘小学校の屋内運動場を建設する計画である。

最近では文化の時代、また人間中心の時代であるといわれ、政治や経済と並んで今日の新しい行政課題である。地域の文化遺産を保存伝承しながら、今後この問題を皆さんと共に考えてゆきたい。

むすび

本町に難しい時代であるが、昨日よりは今日、今日よりは明日の生活がよくなるよう行政を推進していかなければならない。町政の主人公は町民であり、行政を動かすのは人である。地方公務員に人を得るか否かは極めて重要であり、最少の経費で最大の効果が発揮できるよう配慮し、自らの反省の上に立つて公務員精神に徹し、進んで町民の意識を想定し、発掘しようる能力を有し、判断力、創造力をもつて増大する行政需要に対応しなければならぬと思う。

私は、本年の年頭に当たり、職員一同に「勇気・忍耐・英知・努力・奉仕」の五訓を常に心に持つて事に当たるとのよう指示しており、私自身もきびしい試練をのり越え、明日の新しい道を切り開いていくことが、私に課せられた責任であると考えている。そして、行政が円滑に機能し、地域社会が発展するよう努力しなければならぬと自覚している。

議会・予算の使いみち今年度の特徴

全般的な特徴

五十六年度の地方財政については、昨年度より更にきびしく、慎重に各科目を見直すとともに、財政の健全化を目的として、おおむね国、県と同様な基調で編成しています。特に社会経済情勢に対応したものにすため、可能な限り

一般会計31億円台

— 昭和56年度 —

当初予算決まる

昭和56年度の当初予算が次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

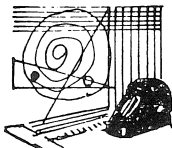
- 一般会計＝31億2,665万8千円(0.01%減)
- 国民健康保険特別会計＝8億2,340万8千円(27.9%増)
- 国民健康保険直営診療所特別会計＝968万9千円(72.6%増)
- 港湾施設特別会計＝1,032万円(26.2%減)
- 水道事業会計＝収益的収入予定額5,554万2千円。収益的支出予定額5,486万9千円。資本的収入予定額630万円。資本的支出予定額1,439万4千円。
- 工業用水道事業会計＝収益的収入予定額2,007万8千円。収益的支出予定額1,844万9千円。資本的収入予定額830万円。資本的支出予定額1,476万5千円。
- 簡易水道事業特別会計＝3,250万5千円(10.7%減)
- 住宅新築資金等貸付事業特別会計＝5,134万3千円(75.3%増)

予算の使いみち今年度の特徴

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたものを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の％は、前年度当初予算との比較。一般会計の目的別費目総額の(一)内の％は、同予算の総額に占める同費目予算の割合)。

経常的経費の節減につとめ、住民生活に直結した各事業については財源の許す限り対応してゆく考えを基本としています。

総務費



- 一般管理・文書
広報・有線放送電
話・財産管理・企
画・事務連絡・生
活行政推
進・徴税
・戸籍住
民登録・
選挙など
のことに
使うお金
のこと

3億510万6千円(9.8%)

集会所建設費など

町のしごとが一目でわかる「町民便利帳」をつくり、各家庭に備えて利用していただくことにより、その印刷経費八十万円を計上。

有線放送施設は、白滝地区の老朽電柱のたて替えをします。区長報酬は五・二%アップした八百六十三万七千円を計上。大谷口地区と須沢地区に集会所を建設するほか、高齢者コミュニティセンターに「陽だまりの部屋」を設け、備品等を整備します。今坊の橋立上地区テレビ受信施設補助として百六万円を計上。町議会議員選挙、農業委員会選挙の年度となっているため、その必要経費合わせて四百二十九万円を計上。

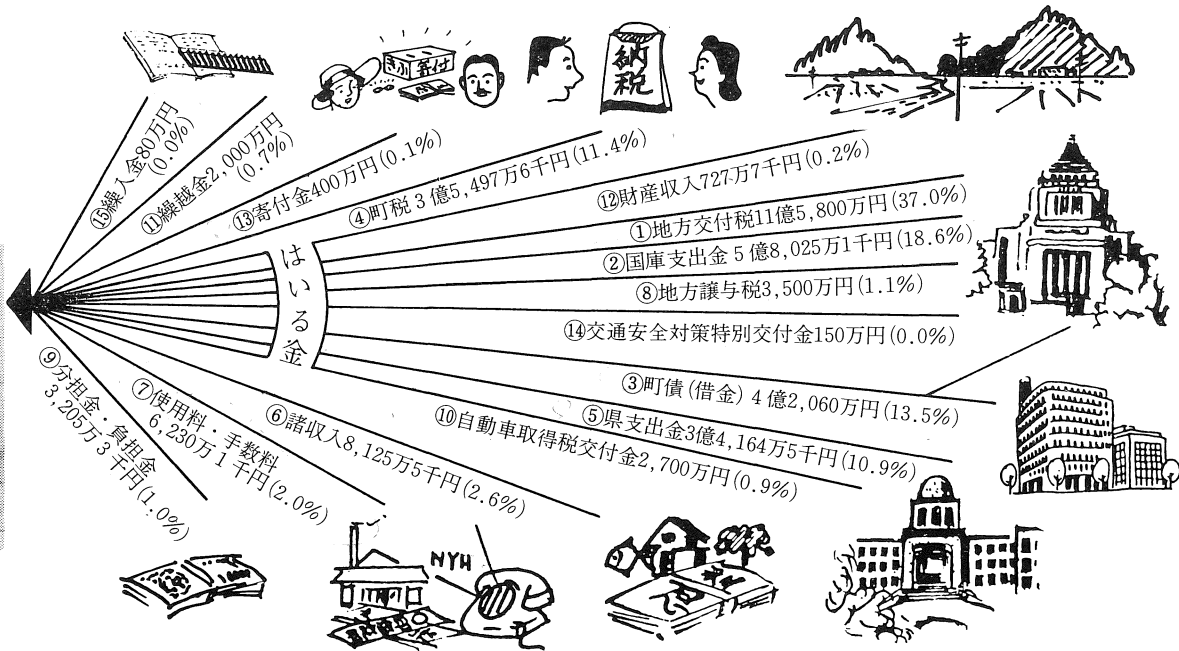
総額で前年度より〇・一七%少なくなっています。

一般会計

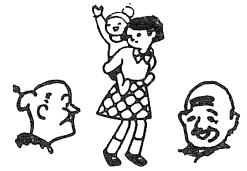
た一般会計

の歳入歳出

4捨5入)
字は金額の順位)
占める割合)



議会・予算の使いみち今年度の特徴



民生費

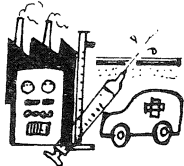
老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・救済などにお金を使うこと

6億3,567万1千円 (20.3%)

敬老会の報償費を増額

敬老会の報償費は、一公民館当たり三千円増額して三万八千円に、一人当たりの補助金は、二百円以前年と同額としています。

老人医療費は、四百三十万円増額して一億一千八百三十万円に、七十歳以上の方が手術を受けるときの補助金は、一回三百円で昨年と同額です。総額で一二%少なくなっています。



衛生費

保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金を使うこと

2億713万1千円 (6.6%)

公害防止の調査費など

公害防止のために、水質、大気



農林水産業費

農業・林業・漁業関係などにお金を使うこと

4億4,616万4千円 (14.3%)

林道叶松・足山の開設

国土調査は五十五年度で出海地区を終え、今年度は豊茂地区の四・一五平方キロを予定、必要経費として二千九百四十九万円を計上。

林業振興関係では、しいたけの生産技術及び品質の向上を目的とした、しいたけ共進会に六十万円計上。

第二次林業構造改善追加事業で林業生産基盤の整備を図るため、林道叶松・足山線の開設費および農林道維持補修のため、タイヤシヨベル購入費として四千五百三十二万円を計上。

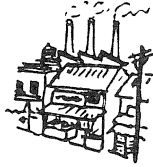
農地費関係の補助では、非補助融資農道舗装事業として、峰大越線(柴、桜線(豊茂)、切迫線(沖浦)、祝谷線(下須戒)、常水大峯線(楡生)の五線分に二百七十三万

魚類調査を行うため、二百二十四万円を計上。また、健康づくりのため、栄養学級、成人学級、貧血検査、体力測定等を実施することにしており、総額で一・八%多くなっています。

円を計上。

農業振興関係では、水田利用再編対策に関連した落葉果樹振興事業費に百万円、特用作物産地育成事業に十五万円、果樹振興施策として中晩柑類追熟装置設置事業に百万円と、大谷伊予かんの団地化を推進するため、柑きつ高接更新推進育成事業に百万円を計上。畜産振興事業では、乳質改善および乳肉牛の共進会の補助として二十六万五千円を計上。

水産関係の補助では、漁業近代化施設整備事業として、流通改善施設整備を図るため、今坊地区に荷捌き所設置のための事業費を計上。魚礁設置、魚礁の清掃と効果調査、稚魚放流事業は前年と同額です。



商工費

商業・工業・観光関係にお金を使うこと

2,449万円 (0.8%)

白滝公園に無料休憩所設置

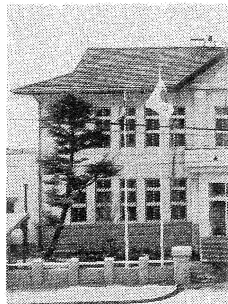
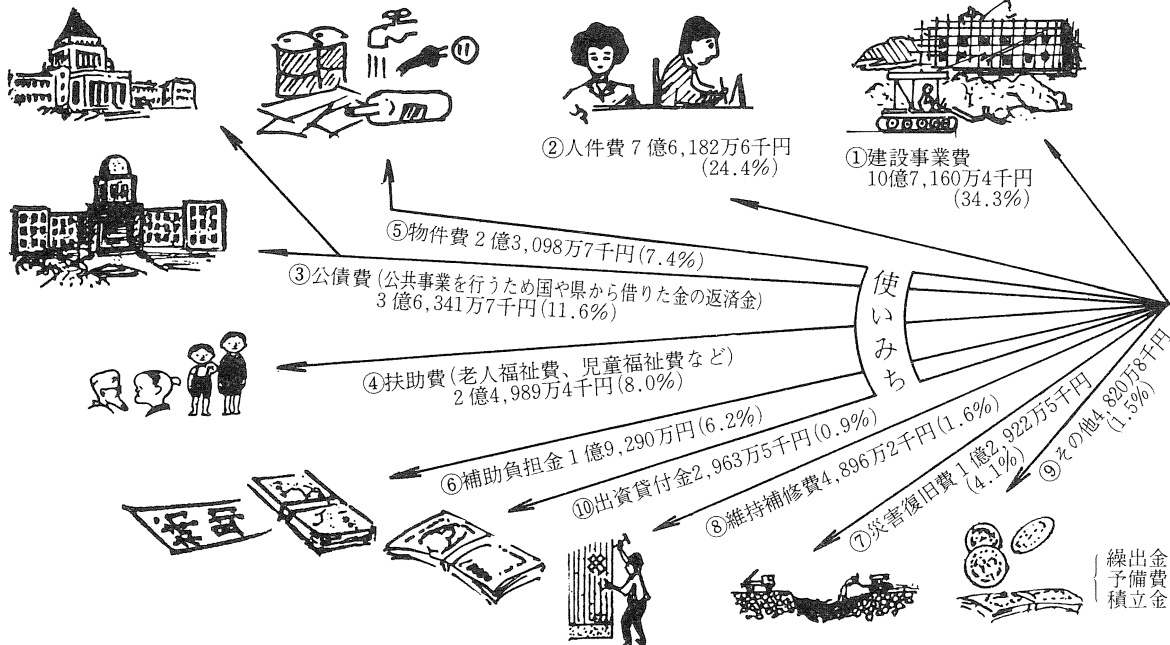
街路灯新設工事のために予算を計上しています。商工会育成補助として六百万円。

観光費については、白滝公園に無料休憩所を設置することにより、その委託料を計上しています。総額では七%の増となっています。

性質別に

31億2,666万円

(金額は千円単位 (①②)など円内数 (%)は予算総額に)



繰入金
予備費
積立

議会・予算の使いみち今年度の特徴



土木費

道路・河川・港湾・下水道・交通安全施設などにお金を使います。
 4億6,582万6千円 (14.9%)

公営住宅の建設

四十七年度から大規模住宅団地建設計画にもとづき、小浦団地につづいて大和地区の土地を購入、大和団地に中高層四階建一棟十六戸の公営住宅を建設することになっています。

町道新設改良では、柿の久保線ほか各所の町道改良、舗装することになっています。

下水道環境整備は、新設、改良工事と排水機能の推維の徹底を図ることになっています。

交通安全対策として、町内の要所にガードレール、カーブミラー



議会費

町議会の運営のためにお金を使います。
 5,268万6千円 (1.7%)



労働費

労働条件の改善などのために使います。
 10万円 (0.0%)

前年と同額です。



消防費

防火防災のために使います。
 7,976万2千円 (2.6%)

等を整備することになっています。

防火水そうの設置

施設設備の充実を重点として、四十立方以上の防火水そう(一基)柿の久保、二十立方以上の防火水そう三基(豊茂二基、戒川一基)を設置することになっています。出海地区に四十ミリの消火栓を新設することになっています。

総額で六%少なくなっています。



災害復旧費

災害を受けた場所を復旧するために使います。
 1億2,922万5千円 (4.1%)



公債費

借金の返済のために使います。
 3億6,347万7千円 (11.6%)

総額で一五%多くなっています。



予備費

あらかじめ定まっている目的以外に使うお金のこと。
 422万6千円 (0.1%)

総額で五六・七%少なくなっています。

白石農道ほか

農業用施設災害の復旧工事で、出海白石農道ほかを施工することになっています。総額で七%の増となっています。

教育費



学校教育・社会教育の全般に使うお金のうち、民族公園・市民館・保健体育・校舎建設などの費用も含まれます。
 4億1,279万4千円 (13.2%)

喜多灘小の屋内運動場など

長浜小学校プール、喜多灘小学校の屋内運動場、今坊集会所の建設費、スクールバスの購入費、町民運動場用地費などを合わせて二億一千九百三万二千円で、教育費総額の五三%を占めています。総額では、前年度長小の建設費を除いた費用は、前年度より六一・八%増えています。

特別会計

国民健康保険

8億2,340万8千円

今年度は高額医療費の大幅な伸び



が見込まれ、国保で負担する七分の療養給付費を、二六%多い六億七千二百四十三万一千円を計上。国保制度のパンフレット、医療費の通知などで、趣旨の普及を図るようにしています。総額では二七・九%多くなっています。

簡易水道

3,250万5千円



簡易水道施設の整備充実を図るとともに、ろう水防止の解消に努めることになっています。総額では一〇・七%少なくなっています。

水道事業

(頭書の通り)



財源となる使用料については改正せず、ろう水の防止に努め、有収率の向上をはかるとともに、経費の節減をはかっていくことにしています。

住宅新築資金貸付事業

5,134万3千円



三%多くなっています。

相当数の貸付要望が予想されることにより、七五・

港湾施設

1,032万円

屋上の看板取り除きおよび電機整備工事を行うことにしています。総額で前年度より二六・二%少なくなっています。

国保直診

968万9千円

五十三年から青島診療所のみとなり、過去における累積赤字は、年次計画で解消に努めてきましたが、黒字運営の見込みがなく、赤字解消分として五百万円計上し、総額で七二・六%多くなっています。

56年5月1日から印紙税の改正

最低税額は百円から二百円に、契約書や領収書などを作成したときは、収入印紙をはって消印をし、印紙税を納めることになっています。

いままで百円の印紙税がかかっていた文書の印紙税額が二百円になるなど、印紙税の税額が五月一日から二倍に引き上げられました。商品券、ギフト券などの物品切手で券面金額が記載されていないものであっても、引き換え給付される物品の価格が明らかなきは、その金額に応じて印紙税がかかることになりました。印紙税のかからない文書を印紙税のかかる文書と考えて収入印紙をはってしまった場合などは、その文書を税務署に持参して手続きをすれば還付されます。

七訂 高齢者コミュニティセンター設置条例制定 56年4月1日から

このたび長浜町大字沖浦に、長浜町立高齢者コミュニティセンターができたことにより、同設置条例が制定されました。このコミュニティセンターは、高齢者の各種の相談、健康の増進、教養の向上、福祉の増進を図り、レクリエーションや、各世代相互の交流を深めることを目的としています。同センターを使用する者は、あらかじめ町長の許可を受けなければならないことになっています。



固定資産評価審査委員に 藤井嘉友氏

長浜町固定資産評価審査委員会委員・坂東武男氏(櫛生)は、三月三十一日

同委員の任期が満了のため、町長は後任委員に出海九十二区の藤井嘉友氏(五三)写真Ⅱを選任、議会の同意を求めた結果、万場一致で同意され、新しい委員に決まりました。同委員は、固定資産課税台帳に登録されたことについて不服があり、異議の申し立てがあったものについて審査を行い決定するのが任務。任期三年。定数三人。

廃棄物の処理及び 清掃に関する条例 の一部を改正

長浜町廃棄物の処理および清掃に関する条例が一部改正され、持ち込みによる焼却処理手数料が次のように改められました。

焼却手数料	一、三〇〇円
不燃物処 理手数料	びん類 一、三〇〇円 かん類 八〇〇円
不燃物捨場使用料	一、〇〇〇円

産業廃棄物の種類及び処分の費用(トントン当たり)

一般廃棄物とあわせて処分ができる産業廃棄物	焼却手数料
かんなくず	一、五〇〇円
外材(パーク)	一、六〇〇円
合成ゴム等化学製品類	五、〇〇〇円
ダンボール・その他	一、三〇〇円

議員報酬、三役教 育長給与を改正

昨年の四月にさかのぼって改正された一般町職員給与との不均衡を是正するため「長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例」「長浜町長、助役、収入役給与条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日か

ら報酬や給与月額を次の通り改めることになりました。

【町議会議員報酬月額】議長 十五万三千円(十四万五千円) 副議長 十三万一千円(十二万四千円) 議員 十二万二千円(十一万四千円)

【町三役】町長 四十八万四千円(四十五万六千円) 助役 三十九万三千円(三十七万三千円) 収入役 三十六万五千円(三十四万七千円)

【特別職、教委、農委の報酬額も改正】特別職、教委、農委の報酬額も改正され、教育長の給与月額が次の通り改められました。

【教育長】三十四万四千円(三十二万三千元)

特別職、教委、農委 の報酬額も改正

常勤特別職や他町村同職との均衡などを保つため、長浜町特別職員、長浜町教育委員会委員、長浜町農業委員会委員の「報酬及び費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬および費用弁償額を次の通り改めることになりました。(内は改正前の額。)

【監査委員報酬月額】議員から選任された委員 十四万八千円(十四万四千円) 知識経験委員 十七万九千円(十七万円)

【選挙管理委員会委員報酬月額】委員長 三万六千円(三万四千円) 委員 三万一千円(二万九千円) 【教育委員会委員報酬月額】委員長 十九万九千円(十八万八千円) 委員 十六万九千円(十六万円) 【農業委員会委員報酬月額】会長 十四万八千円(十四万円) 会長代理 十三万六千円(十二万九千円) 委員 十二万四千円(十一万八千円)

有線電話機の購入費など

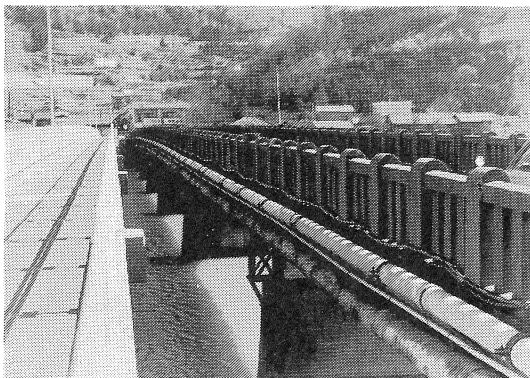
55年度一般会計補正

五十五年度の一般会計予算に、今回七千七百四十万円を補正、当予算会計の総額は、三十六億七千五百二十九万円となりました。

【総務費】大和橋かけ替え工事に伴う有線ケーブルの移転工事費百万円。現在使用している有線電話機が生産中止となるので、将来を見込み百台購入することと二百三十万円を計上。

当初計画していたうち、国補一か所、県単一か所が国鉄用地払い下げ認可の問題で施行が困難となったため、一千三百四十四万円を減額しています。衛生費 大洲喜多衛生事務組合負担金百七十七万円。簡易水道への繰り出し金二百六十万円。農林水産業費 市町村農業機械効率安全対策事業委託料百三十万円。水田裏飼料作物振興奨励補助七十三万四千円。水田利用再編対策推進特別交付金七十七万一千円。土木費 住宅管理費で電気料金の上上がりによる不足額六十万円。消防費 広域消防長浜支署建設債務負担金を繰り上げ償還するため、一千二百七十七万円を計上。教育費 小学校三年生の副読本として使用する「長浜のくらし」の印刷費五十五万円。水族館の屋根材が腐蝕して危険なための補修費。

【民生費】地方改善事業で、地開発基金へ積み立てるもの。



大和橋かけ替え工事現場

一般質問

五十六年町議会第一回定例会では
堤正和氏、西宮正幸氏、小川儀三郎
氏、塚木弘基氏、中川喜代志氏、和
田永吉氏が質問を行いました。おも
なものの内容は次の通り。

公共事業の発注 は町内で

公共事業の推進

堤議員：体質の弱い長浜町の住民経済は、ますます冷え込みが懸念され、公共事業の地域に対する影響力は大であり、事業量の増大はもちろん、町内所得に直接つながる請負対策、建設資材等の町内調達が必要な要素であると思うがどう考えているか。また推進する具体的な案はあるか。

二宮町長：地域経済の浮揚策としての公共事業は、きびしい財政下であるが、積極的に、また計画的に取り組んでいく考えであり、発注については極力町内業者に、また資材購入についてもそのような指導を行っている。

構想のまとめの段階

石炭火力発電所誘致

堤議員：LPGを中心とした燃料エネルギー基地と、石炭火力発電所の誘致が取り沙汰されているが、どの程度の確実性があるのか。

二宮町長：現在、構想をまとめておる段階で、誘致見直しについては規模が超大型であるため、明確にはお答えできない。長浜町は

都市基本構想の 中で見直しを

都市計画と建築基準の関連

堤議員：本町では長浜、仁久、黒田、沖浦、晴海が都市計画区域に指定され、厳しい制限が加えられており、土地があつて家を建てたくても建てられない者もあり、こういう人達の救済の方法はないか。また、仁久、沖浦、山際の三地区においてどのような市街化計画があるか。

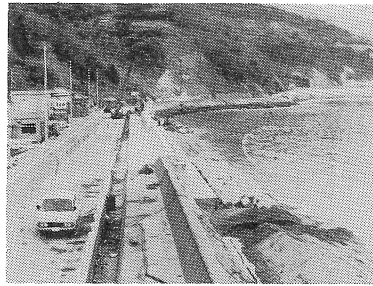
二宮町長：秩序ある町づくりを図るため、昭和二十四年に旧長浜町が都市計画区域に指定されて以来、ご指摘の五地区が指定を受けており、土地の狭い我が町では若干問題もあるが、仁久、山際、沖浦の三地区も含めて、都市計画基本構想の中で長浜町全体の都市計画区域について見直しを検討したい。

海岸保全五か年 計画で

沖浦海水浴場

堤議員：県内でも屈指の水の美しさで有名な沖浦海水浴場が、漁港建設、国道整備による影響で荒

廃しているが、今年度、海水浴場として使用するのか。また、テトラポットによる消波離岸堤を作る必要があると考えられるが、どのような対策をとるのか。



沖浦海水浴場

二宮町長：災害復旧工事は終わっており、強い西風が吹く問題があるので、県へお願いして消波ブロックを国道の前面へ置くことで内諾を得ている。五十六年度に町と県で調査費をつけて、潮流とか風の方向などを調査して、海岸保全五か年計画の中へ入れて対応していきたい。今年、沖浦で海水浴ができなければ、須沢地区に施設を設置するのが適切であろうと思う。

当分の間一月十日 五日に

成人式の変更

堤議員：成人式を迎えるたびに思うのは、成人者の出席率の悪さである。成人者に意見を聞いてみると、一月五日か八月のお盆ごろにでもという声を聞く。この問題についてどのように考えているか。

二宮町長：成人式の実施については各町村とも一定でなく、成人者の意志を尊重し、多くの者が参加できる日を選ぶため、アンケート調査を実施した結果、七割の者が一月十五日実施を希望しており、今後も当分の間一月十五日実施が適当であると思う。

高速ろ過装置は 検査の後で

上水道の水質

堤議員：公営の上水道は、地域住民に対して清潔で良質な水を供給する義務が果せられており、水道にたざさわる者は心していただきたい。上水道の水質試験成績書を見ると、水質検査は予防協会でありながら、一枚だけ愛媛環境分析センターのものがあるのはなぜか。また、柴上水場では、どのような基準で塩素投入量を決定しているのか。配管の腐蝕を計算に入れて、鉄分の問題に取り組んだことがあるか。塩素イオンの使い過ぎによる悪影響が考えられ、将来高速ろ過装置を導入してはどうか。

久保課長：県の水質検査の指定機関は、衛生研究所、環境分析センター、愛媛県予防医学協会の三か所であり、当町は県予防医学協会へ委託しており、場合によっては、環境分析センターへ依頼することもある。塩素の投入は、水四十リットルに対してニガリ一袋（二十五キロダ）が基準であり、柴浄水場では水二百リットルに対し、ニガリ約六袋を投入している。鉄分の含有量の調査は晴海と浄水場でやっている。高速ろ過装置の設置について

連絡協議会で協議を

長浜高校教育体質

堤議員：長浜高校は、就職高校としての色あいを深め、学力の低下、一部学生の欲求不満による校内トラブルなど、よくない状況を聞くが、校外指導を強化し、教師と生徒のスキシップを図るため、地元出身者の教師を採用するなど現在の実情を把握され、県へ改善要求する考えはないか。

二宮教育長：幼児教育、小学校、中学校、高校という一貫した教育を考えており、教育関係での連絡協議会を発足させて、協議を重ねながら子供達の健全育成を図り、高校教育につなげていきたい。

当面は現況のまま

水族館の存廃

堤議員：当町の水族館は、県下唯一の実態研究の場として、また観光事業の目玉としてその目的を果たしてきたが、経済的な面をみてみると毎年赤字をだしており、行政改革が叫ばれている今日、この点についてどのように考えているか。現在の状態で、時代に即応した水族館として役に立っているか。廃館する考えはないか。

二宮町長：水族館の経営状態はここ数年赤字をだしておるけれども、子供たちの生きた視覚教材として珍重がられ、父兄の方からも、

ぜひおいてほしいという強い要望があり、県下唯一の水族館ということで、当面は現況のまま極力赤字を少なくするという配慮でやっていきたい。将来は開発を進めていく中で、広域運動公園という計画をたてており、そこで建て替えたい。

実技指導と普及

～老人福祉～

堤議員：老人福祉について、豊かで生きがいのある老後の確立を図っていただくために、各老人クラブにゲートボールの道具を助成してはどうか。

二宮町長：生きがいを与える変化に富んだ施策ということで、昨年、老人クラブ会長会で協議し、道具二十組を購入し、実技指導と普及に努めている。実施するクラブが多くなれば町内大会も開催したい。

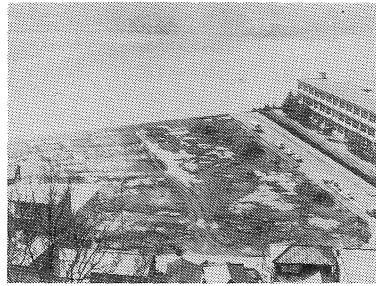
当分は運動場として使用を

～伊予木材の土地購入～

西宮議員：長浜中学校横の伊予木材の土地を開発公社で購入したが、この土地の活用方法と目的について、また購入代金、支払い方法についてうかがいたい。

二宮町長：長浜町は土地が少なく、建設しなければならぬ公共施設は沢山あり、都市計画の中で道路拡張も考えており、このための替地がないので、将来このような用地として使っていきたい。また長浜町には運動場がなく、町民

の方の要望もあり当分の間、運動場として使っていたが、将来運動公園が完成した時点で検討したい。坪当たり十八万五千円で購入し、十年間で支払っていく計画である。



伊予木材(株)から購入した用地

慎重かつ計画的に

～石炭火力発電所の誘致～

西宮議員：長浜町の発展と、今後の過疎対策などの目的で取り組んでいこうとしている石炭火力発電所の誘致について、現在の進展をお尋ねしたい。

二宮町長：この問題は重大であるので、慎重かつ計画的に進めていきたい。

できる限りの支援を

～明るい商店街づくり～

西宮議員：「愛媛いずみ」進出が確定した現在、町内商店街は大変深刻であり、明るい商店街づくりや転職業者の指導などに力を入れていただきたいが、どう考えているか。

二宮町長：経営者の方は受身の

姿勢だけでなく、大型店にどのように対抗し、経営していくか、全小売業者が団結され、商店経営者自ら積極的な努力をしていただき、町もできる限りの支援をしていきたい。

専門家に診断を依頼

～水道事業の見直し～

西宮議員：長浜町の上水道が設置された当時は水質もよかつたが、最近に限り水、断水などの苦情が多く、水道事業を根本的に見直す時期にきているのではないかと。

二宮町長：専門の水道業者に診断を依頼しており、開発をおこなった場合、人口が増えても十分供給できる良質の水確保ができるよう検討中である。

健康づくり運動

～健康づくり運動を強力に～

小川議員：献体運動について現在白菊会が世話をしているが、福岡県の久山町では、町長自ら自分の死後体を町民の健康のために提供するということをやっておられるが、この点についてどう考えているか。また積極的に研究しようとする考えがあるか。

二宮町長：当町では健康づくり運動を強力に進めており、研修で学んだことは取り入れられるものから取り入れていきたい。献体運動については、町民のかたりの方のご理解を得てから進めていくのが望ましいと思う。

基礎調査など積極的

～先進地の視察調査～

小川議員：明浜町ではLPG基地を誘致することで話が進んでいたが、住民の合意が得られず断念した。明浜町へいって積極的にその原因を調査する考えがあるか。

二宮町長：開発を進めていくことになると、環境アセスメント、基礎調査、住民との話し合いをして合意を得るなどの手順があり、忠実に進めていかなくてはならないと思う。先進地へかけて現状を確認し、専門家による環境アセスメント、基礎調査など積極的に取り組んでいきたい。

二宮町長：開発を進めていくことになると、環境アセスメント、基礎調査、住民との話し合いをして合意を得るなどの手順があり、忠実に進めていかなくてはならないと思う。先進地へかけて現状を確認し、専門家による環境アセスメント、基礎調査など積極的に取り組んでいきたい。

購入して今後活用を

～伊予木材の用地買収～

小川議員：伊予木材の用地を、我々に全く相談がなく土地開発公社で購入されたが、助役、収入役と相談して異議はでなかったか。以前は議会に相談があったが、今はない。この点どう考えているのか。

二宮町長：開発公社の定款の問題で、年度初めに事業計画、予算を作成して町長の承認を受けなければならぬ

いと規定してあり、町長の承認は議会の議を経て執行するべきだと思いがどう考えているか。

二宮町長：今回、伊予木材から売却しようと思うかどうかという話があり、助役、収入役、課長と相談した結果、この際購入しておくべきだということで意見が一致した。

この土地は、統合中学校を建設した時から町で購入し、教育施設その他に使用したい考えがあり、二、三回伊予木材に交渉したが、売ってもらえなかつた経過がある。なお、売られる時には町に相談するという確約がなされていた。そのことに基き町に話があつたものと思う。

開発公社で購入することし、公社の役員会にはかつたが、この土地は必要だということ、満場一致で決定いただいたものであり、ご理解いただきたい。

開発公社が土地を購入する場合は、議会の承認は必要ない訳で、今回、開発公社から町が購入するので、議会に提案しているのでご検討いただきたい。

更に一層の啓発活動を

～町議選挙を浄化する運動～

小川議員：選挙の浄化については何度も述べており、金をつかわない理想的な選挙をやる気があるのか、今回は決断のチャンスであり、期待のもてる答弁をお願いしたい。

二宮町長：選挙が行われるた

びに、明るく正しい選挙の実現が強くいわれており、身近な地方選挙、国の選挙を問わず、明るく正しい選挙が行われるよう、広報活動、公民館活動を通じて、更に一層啓発活動を充実させていきたい。また、この問題は有権者一人一人の良識にゆだねられるところが大きく、ご指導をお願いしたい。

できるものから着手を

基本構想の計画策定

塚木議員：長浜町振興計画基本構想は、昨年見直しをされて以来一年が経過したが、町民は不況打開策として、一つの希望と期待をもっており、町民の理解しうる構想並びに計画を具体化する必要にせまられていると思うが、計画策定ができているか。また、この基本構想と、先般報道された総合エネルギー基地開発構想とは関連があるのか。

二宮町長：構想は開発だけでなく、公民館の問題、いろいろな施設の問題など手をつけているものもあり、基本構想で決定したくないものは、できるものから進めている。先般の新聞の報道については町が新聞社に発表したのではなく、職業柄どこかでスクープされたものと判断している。

手順を踏まえて努力を

地域開発

塚木議員：地域開発をしていく

上で、町民の皆さんの理解、協力が得られるか。納得のいく企業の誘致が可能か。国、県の強力かつ積極的な援助が可能かどうか。瀬戸内海の環境保全をたてまえとしておる環境庁の了解が得られるか。

二宮町長：ご指摘の問題についてはその手順を踏まえ、環境アセスメント、基礎調査の結果もよく、公害、環境破壊もないということになって初めて手をつけるということ、その点を踏まえて努力していきたい。

下須戒の町営住宅用地を

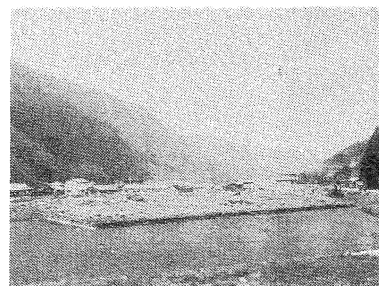
公用地取得

塚木議員：土地開発公社の運用については、年度当初に事業計画並びに収支予算を計上し、議会の承認を得て運営にあつているが、年度途中で事業計画、収支予算に大きな修正が必要とされるときは、議会に打診があつてしかるべきであり、伊予木材の土地は議会の同意も得ずに購入に踏みきつたことに不審な念をだしているが、納得のいく方法で行われているか。

公用地取得について十分計画性をもたす必要があると思うが、今後の計画は具体化しているか。

二宮町長：土地開発公社にはそれぞれ役員がおられ、理事の皆さんは町民の意志を代表され、十分配慮して審議をいただいております。適正に行われている。

公用地取得については、五十六年度に下須戒の町営住宅用地を取得する計画であり、その他につい



大和団地建設予定地

ては、その都度必要に応じて取得していきたい。

県と協議しながら対応を

出海地区生活用水の確保

塚木議員：出海地区土居川改修工事の影響で、生活用水の濁水で困っている住民がでていますが、この対策はどうするのか。

二宮町長：河川改修工事に直接起因しているかどうかは別として、県、町の関係者で協議の上応急対策を構じたが、まだ元には回復していないので、県と慎重に協議しながら対応をしていきたい。

方向づけのあと説明会を

総合エネルギー基地構想

中川議員：工業用地を造成し、石炭火力発電所、LPG備蓄基地などを誘致して、総合エネルギー基地を建設する計画であり、一番大切なことは環境アセスメントである。基本構想を計画に移してい

くとなれば、環境汚染に対する公害防止対策として、以前に作成した長浜地区産業公害総合事前調査という資料があるが、これを参考に進めていく考えがあるか。また、この開発計画を進めていくとすれば、事前に説明会を開き、町、議会、一般町民が一体となって研究し、町民の十分な理解の上になつて進めていくべきだと思いが、勉強会をやる意志があるか。

二宮町長：今後開発を進めていく上で、以前のような調査では状況も変わっているので、参考にしながら使えるものは使っていく。また、これにこだわることなく、多くの事項について調査検討しなければならぬと思う。環境アセスメントや基礎調査など、ある程度把握し、方向づけができてから学者の説明会等を開いて、積極的に全地域へ足をこんでいきたい。

定期点検を十分に

青島簡易水道

中川議員：青島簡易水道の飲料水の塩分が非常に多く、住民の健康上の問題になっているが、その対策をどのように考えているか。

二宮町長：逆浸透法による淡水化装置は、モジュールというものによって塩分を除去しており、この耐用年数は二年以内であり、早めに更新しないと塩分除去率が低下するので、年二回、業者に委託して定期点検を実施している。予備部品等も購入して、簡単なものは水道課の職員で対応できるよう教育している。

再度検討を

脊柱側弯症

中川議員：脊柱側弯症研究協会が設置され、早期発見ときょう正に活動を続けておられ、それに對して町が補助金をだしているが、もう少し多額の予算を組んで、より一層活動していただく場を与えることが大切だと思いが、どう考えるか。

二宮町長：愛大医学部の野島教授の指導により、町内児童生徒の一斉検診を実施し、側弯度大きい者については、きょう正指導をして大きな成果があがつており、ご質問の意を受けて再度検討してみたい。

国、県に対応策を要望

飲料水の疑問点

中川議員：最近、水道水に塩素を投入することにより、発ガン性の疑いがある有機化合物トリハロメタンが生成されるといふことが報道されたが、このことは以前にも対策を検討していただくようお願いしていたが、その後どのような経過を経て調査をされたか。また、どのような結果がでているか。これは肱川の伏流水を源水として使用しているところに最大の原因があると思うが、肱川汚染防止対策をどのように考えているか。

二宮町長：トリハロメタンについて県へ照会したら、現在の殺菌方法は塩素殺菌がほとんどであり、

町職員人事異動

保健所を通じて国、県に対応策を要望している。これは全国的な問題であり、厚生省も五十六年度に追跡実態調査を行い、暫定の指針を出すよう検討しているのをご理解いただきたい。

脇川の汚染については、町村会等でもやかましくいつており、し尿処理は三次処理に手をつけることで検討している。

統合できれば計画立案を

学校教育関連施設の整備
 和田議員：教育環境面からみれば、学校格差は、きわめていぢるしいものがあり、木造老朽校舎は全面的に改築を必要としており、出海地区は旧態依然である。小、中学校同時に改築していただけるのか。体育館、プール等の施設を先に行うべきではないか。

二宮教育長：町内各小学校の義務教育施設の整備については、毎年行っており、校舎は九校中五校、プールは八校、屋体については本年の計画が完成して、三校整備されることになる。出海小、中学校の敷地面積は町内で最も狭少であり、整備が遅れているが、教育面からみて、長浜中学校に統合されるのが望ましいと思う。統合が可能であれば、小学校の施設配置等計画立案し、地元の皆さんとの協議を重ねた上で推進していきたい。出海の学校施設からいえば、プール、屋体よりは校舎が優先すると考えている。

広域的見地から予備水源対策を

簡易水道対策
 和田議員：地下水の低下というものが自然条件なのか、人工的に施された土居川河川の改修なのか、その点を調査していただきたい。老朽化した配管施設の布設の計画はあるか。現在の水道の有収率は何パーセントか。

二宮町長：大洲中央土木事務所に検討、実施を求め調査した結果、県が応急対策を行い、その後の状況を確認することで監視を行うよう指示している。今後は広域的な見地から予備水源対策を検討しなければならぬと思う。当面は地域内の水源確保と、これに関連した施設の改良に重点をおく考えである。現在の有収率はおよそ七〇%である。

改良促進、陳情を

国道の整備
 和田議員：国道三七八号線において、出海、櫛生間において自然的立地条件により、年中高波を受け、交通をさまたげる事故に結びつく危険性は大きく、実情を踏まえて優先的に出海工区設定と国道三七八号線の改修をお願いしたい。

二宮町長：国道三七八号線の改良整備促進については、最重点施策のひとつとして取り組んでおり、出海地区は櫛生工区として設定されており、大部分が未改良の状態であり、今後一層改良促進、陳情を続けていきたい。

4月1日付けで 53人を異動 町職員

長浜町職員的人事異動を、四月一日付けで行いました。今回の異動者は、総数で五十三人。

内訳は、課長級四人、課長補佐級七人、係長および事務・技術専門員級十一人、書記および書記補級二十一人。保育所は、主任保母級二人、保母級八人。このうち係長および事務・技術専門員級五人が昇格しました。

二宮町長は、今回の異動について「少数精鋭、能力第一主義をポリシーに①総合エネルギー基地対策②第一次産業対策③住民の福祉対策④水道対策⑤総務課の充実、特にこの五点到重点を置き、更に行政効果が期待できるよう職員構成を行った」と述べています。

なお、今回住民福祉の充実を図るため、住民課の統廃合、新設を行いました。福祉係、年金係を福祉・年金係に、同和対策係を新設しました。

四月一日付けで異動した職員は次のとおり。()内は旧任。●は昇格。

【課長級】住民課長・酒井義禹(建設課長)▽衛生課長・波多野進(農林水産課長)▽農林水産課長・石丸英雄(住民課長)▽建設課長・真鍋典秋(衛生課長)

【課長補佐級】総務課長補佐藤沢豊彦(振興課長補佐兼企画係長)▽税務課長補佐兼住民税係長・矢野克(衛生課長補佐兼環境係長)▽住民課長補佐兼福祉施設係長・石任武俊(税務課長補佐兼住民税係長)▽振興課長補佐兼企画係長・山本辰雄(教育課長補佐兼学校教育係長)▽建設課長補佐兼港務所長・久保博道(水道課長補佐兼庶務・工業用水道係長)▽水道課長補佐兼庶務・工業用水道係長・大元宗一(建設課長補佐兼港務所長)▽教育課長補佐兼学校教育係長・仲田源一(建設課長補佐兼管理係長)

【係長および事務・技術専門員級】総務課庶務消防係長・中野健蔵(建設課公共土木係長)▽衛生課環境係長・下田健三(水道課工務係長)▽衛生課衛生係技師・西本幸雄(総務課技師)●衛生課環境係主事・久保博昌(衛生課)●農林水産課農林施設係長・新田道夫(税務課)●農林水産課農地係主事・日野敏子(農林水産課)▽建設課管理係長・山根勇一(農林水産課農林施設係長)▽建設課公共土木係長・西田孝(住民課年金係長)●会計室事務専門員・宮岡亀古(会計室)●水道課工務係長・藤本富雄(水道課技術専門員)▽水道課庶務・工業用水道技師・森川純行(建設課技師)

【書記および書記補級】総務課・窪清一(水道課)▽総務課・久保嘉範(衛生課)▽税務課・宇都宮芳文(農林水産課)▽税務課・稲田宏(建設課)▽税務課・松本伊代子(農林水産課)▽住民課・滝内仁(教育委員会白滝公民館兼白滝連絡所)▽住民課・宇根やす子(住民課)▽衛生課・坂東敏幸(水道課)▽農林水産課・山本安広(建設課)▽農林水産課・菊地邦求(教育課)▽農林水産課・久保文章(税務課)▽振興課・菊地博幸(総務課)▽建設課・植村岳志(農林水産課)▽建設課・戒微(総務課)▽会計室・久保美恵子(総務課)▽水道課・浪本忠則(税務課)▽水道課・城戸広美(総務課)▽水道課・谷上真悟(農林水産課)▽教育委員会白滝公民館兼白滝連絡所・久保田健市(住民課)▽教育課・亀田稔(振興課)▽老人ホーム白山園・藤豊(水道課)

【主任保母級】喜多灘・池田スミ子(長浜)▽長浜・萩森理恵子(喜多灘)

【保母級】長浜・三好五月(出海)▽長浜・矢野幸子(喜多灘)▽櫛生・佐竹千恵子(長浜)▽大和・横山典子(豊茂)▽豊茂・梶本幸子(長浜)▽白滝・宮本邦子(長浜)▽喜多灘・矢間栄津美(沖浦)▽喜多灘・上満裕子(白滝)

【嘱託】教育課・久保七郎▽教育課・畑山伊佐夫

四月一日付けで採用しました。

【退職】おせわになりました。今回、二人が退職しました。【嘱託】教育課・高左潔▽教育課・藤枝廣美

長浜町職員録

本 庁

憲博童
重孝
宮田居
二門土
長役
町助
収入役

総務課

課長 上田 邦彦
課長補佐 藤沢 豊彦
山下 国広

庶務消防係

係長 中野 健藏
技術専門員 窪 憲一
成田 信重
都築 住江
上地 末子
稲垣美恵子
婦人交通指導員 東 ツキエ

企画財政係

係長 山本 勝延
書記 松岡 陽規

管財係

係長 叶本 正
書記 窪 清一

文書係

係長 平見 朝子
主事 横道 里見
書記 久保 嘉範

広報有線係

係長 山下 一仁
技術専門員 大野 泰俊
都築 小富
大本 昭裕
三浦 直重
菊地 直美

住民税係

課長 小川 平
課長補佐 矢野 克

(兼)係長 矢野 克
書記 小西 貫一
書記補 藤本 修二

固定資産税係

係長 上川 慶信
書記 宇都宮 芳文
稲田 宏

収納係

係長 政所 友邦
書記 橋本 初子
松本伊代子

住民課

課長 酒井 義禹
課長補佐 木下 保利
石住 武俊

同和对策係

(兼)係長 木下 保利
書記補 清水 康則

福祉施設係

(兼)係長 石住 武俊
栄養士 大橋 京子
書記補 河内 厚子

福祉・年金係

係長 山根カヨ子
書記 滝内 仁
大国 尚子
宇根やす子
井上 裕重

住民係

係長 中野 貴夫
書記 城戸 茂利
大本みつ子
吉田 明美

衛生課

課長 波多野 進
課長補佐 渡辺 敬
(兼)係長 渡辺 敬
技師 西本 幸雄

看護婦

看護婦 坂東 敏幸
石本紀美子
一宮 和子
原間 雅子

国保係

係長 村上 隆志
書記 浦上恵美子
下田 健三
久保 博昌

環境係

主事 久保 博昌

農林水産課

課長 石丸 英雄
課長補佐 大野 智
中田 晋

林業・水産係

(兼)係長 大野 智
書記 三秋 敦司

農業係

係長 上満 治雄
書記 久保 文章

農林施設係

係長 新田 道夫
書記 二宮 正昭

農地調査係

係長 上田富喜男
書記 山本 安広
一宮 義道
菊地 邦求

農地係

主事 笹本 栄一
日野 敏子

企画係

(兼)係長 山本 辰雄
洲尾 計邦
西岡 敏博
西山 健市

商工係

係長 田中 宏幸
書記 松本 治子
菊地 博幸

調整係

(兼)係長 宮田 猛義

建設課

課長 真鍋 典秋
課長補佐 丸山 寿一
久保 博道

管理係

係長 山根 勇一
書記 宮下紀久重
清水 俊三

建築・都市計画係

(兼)係長 丸山 寿一
書記 重松 直博

農業・公共土木係

係長 佐々木晋一
技師 西田 孝
植杉 岳志
菊地 洋一
森内雄二郎
岡田 好光
楠野 茂利
戎 徹
藤岡 章男

會計室

室長 上川 万敏
事務専門員 平田 豊子
宮岡 亀古
久保美恵子

水道課

課長 久保 弘
課長補佐 大元 宗一

庶務・工業用水道係

(兼)係長 大元 宗一
技師 森川 純行
書記 城戸 広美
谷上 真悟

工務係

技師 藤本 富雄
技師補 浪本 忠則
矢野上和雄

教育委員会

教育委員長 二宮 義徳
課長 池上 昭夫
課長補佐 山崎 一義
仲田 源一

総務係

係長 和田 正義

学校教育係

(兼)係長 仲田 源一
書記 友沢あつ子

社会教育係

(兼)係長 山崎 一義
主事 亀田 稔
主事 久井 一
指導員 久保 七郎
久保 佐夫
谷本 通治

議事事務局

局長 高橋 亮
書記 三秋レイ子

農業委員会

書記 笹本 栄一

出 先

連絡所

(喜多灘連絡所)
 (兼)主任 吉田 直人
 (榊生連絡所)
 (兼)主任 山本多喜男
 (出海連絡所)
 (兼)主任 垣見 正志

保育所

(長浜保育所)
 所長 西宮 幸子
 主任保母 萩森理慧子
 保母 石川 令子
 三好 五月
 吹春みね子
 矢野 幸子
 浪本 満子
 (白滝保育所)
 所長 山本美智子
 主任保母 永尾 弘子
 保母 沢田 幸子
 大野ギン子
 宮本 邦子
 白石 玉子
 児玉クミ子
 (沖浦保育所)
 所長 下田 美澄
 主任保母 西田 清子
 保母 菊地さと子
 吉岡とよ子
 平野 悦子
 鈴木 朝子
 (榊生保育所)
 所長 大藤 恭子
 主任保母 田村 恒子
 保母 宇都宮由美子

(相生連絡所)

(兼)主任 中田 圭助
 (豊茂連絡所)
 (兼)主任 菊地 英夫
 (白滝連絡所)
 (兼)主任 久保田健市
 園長 友沢 敏

老人ホーム

保母 鈴木佳代子
 技手 佐竹千恵子
 田丸 富枝
 (出海保育所)
 所長 玉井 徳美
 主任保母 大成 節子
 保母 児玉 智代
 菊地 郁子
 笹本 直江
 (大和保育所)
 所長 谷川 俊子
 主任保母 藤淵美枝子
 保母 木之本律子
 西山みち子
 山本 直美
 横山 典子
 岡崎美智子
 (喜多灘保育所)
 所長 山本コトエ
 主任保母 池田スミ子
 保母 矢間栄津美
 上満 裕子
 泉 友江
 (豊茂保育所)
 所長 西岡 房子
 主任保母 宮岡 民子
 保母 矢野 越子
 梶本 幸子
 調理員 都田 悦子

園長補佐兼生活指導員

隱岐 龍法
 熊本 真弓
 一藤 豊
 平田由美子
 大野 良子
 清水 藤子
 富岡トシコ
 一宮トモエ
 清水 愛子
 松本 和重
 永木喜美子
 上田ミドリ
 山中イチエ
 久保田幸子

隣保館

主任 吉田 直人
 主事 山本多喜男

診療所

(青島診療所)
 看護婦 赤丸 恵子
 (榊生診療所)
 看護婦 高田 美香
 (出海診療所)
 看護婦 宝生 房子
 (豊茂診療所)
 看護婦 坂田 嘉代
 (白滝診療所)
 看護婦 平田美佐子

焼却場

技術専門員兼主任 大野 勇
 技手 松石 之道

港務所

嘱託 矢野 覚男
 所長 久保 博道
 書記 小林 吉安

学校

(長浜小学校)
 用務員 寺坂 満子
 (長浜中学校)
 用務員 坂井 英雄
 (長浜中学校寄宿舎)
 調理員 中谷トリエ
 松本イツミ
 嘱託 泉田 松子

公民館

(今坊公民館)
 主任 吉田 直人
 (兼)主事 山本多喜男
 (榊生公民館)
 (兼)主事 垣見 正志
 (出海公民館)
 (兼)主事 山本多喜男
 (大和公民館)
 主事 垣見 正志
 (豊茂公民館)
 主事 中田 圭助
 (白滝公民館)
 主事 菊地 英夫
 久保田健市

体育館

嘱託 久保カツミ

水族館

主任 平田 友幸
 嘱託 三石むめ志

社会福祉協議会

会長 久保 七郎
 事務局長 酒井 義禹
 専門員 日田 稻生
 書記 水沼 和弘
 ホームヘルパー 三井 虎子
 谷口 町江
 大西シゲル

土地改良区

理事長 二宮 重憲
 事務局長 石丸 英雄
 職員 矢野 晃

長浜警察官派出所

四月一日付けで大洲警察署長浜警察官派出所職員が異動が行われました。

〔長浜警察官派出所〕

警部補(所長) 光宗 敏
 巡查部長(主任) 萩尾 忠宏
 巡查(所員) 松浦 優
 巡查(所員) 山下 高明
 〔榊生警察官駐在所〕
 巡查 乗松 新一
 〔大和警察官駐在所〕
 巡查長 尾崎 茂
 〔白滝警察官駐在所〕
 巡查長 坂上 弘

長浜警察官派出所の坂本強巡查部長は大洲警察署へ同派出所の清家真哉巡查は警区機動隊へ榊生警察官駐在所の秋月吉則巡查長は東予警察署へ大和警察官駐在所の井上博道巡查長は宇和川駐在所へそれぞれ転勤になりました。

表彰***

上満さんが優勝

四国連合乳牛共進会

乳牛の改良増殖と飼育管理技術を向上させ、酪農経営の安定を図る目的で、四国ホルスタイン改良協議会主催による四国連合乳牛共進会が、四月五日、徳島県板野町の経済連畜産センターで開催されました。四国四県から百十二頭が参加、うち県内から十九頭、町内からは上満武さん(柴)の未經産牛「ジョハナ・バクラマートッド」が第三部(生後十六か月〜二十二か月)で優勝、大坪藤市日本ホルスタイン改良事業団理事長から表彰されました。

矢野元ヒデ子さん

民生児童委員で功績

今坊六十七区の矢野元ヒデ子さん(五〇)「写真」は、多年にわたって民生児童委員として功績があつ



鯉のぼり、ここにも日本男児あり。当今、吾こそは日本男子なりと自覚している男性がどのくらいあるだろう。女性ならさしずめ大和撫子。日本といひ大和というからには、日本国家との一体感、愛国心が前提にあつての意識だろう。国民の意識調査で、愛国心があると答えたものの50%。戦前なら100%であつた筈▲江戸っ子は五月の鯉で口ばかり。腹に一物もない気つぶの好き。ところで現代は「日本中 五月の鯉で口ばかり」…言論の自由とは言いながら、何と中味の無い口の論議でうるさいこと。一本大切な背骨が通ってなければ、如何に早口にしゃべっても空しいばかり▲及ばぬ鯉の滝のぼりをしたのには紺屋の久蔵。5点の男も3点の男も8点の男も10点の女を欲しがらる。女にしても同じ。これでトラブルが生じなければおかし。3点の男は3点の女を、5点の男は5点の女を、8点の男は8点の女を望み、結ばれるならば悲劇など生じない筈とは故菊池寛の論。馬鹿の高上がり、下司(す)の高望みは今や日本国中に花盛り。分を守ることを忘れて分外の望みを抱く。分相応が安定と平和の大前提であること。今一度、五月の薫風に泳ぐ鯉のぼりに、本当のさわやかな心をたずねてみようではないか。



たことにより、二月十二日、大洲市民会館で開かれた郡民生委員協議会研修会の席上、谷本恒雄郡社会福祉協議会会長から表彰されました。

寄付

○沖浦五六区の渡壁国保さん(三九)：トランジスタメカフオン一台を沖浦保育所へ。
○白滝保育所の会(会長・井上寿子さん)：東芝電気洗たく機一台を白滝保育所へ。
○昭和五十五年度櫛生保育所卒園

タバコは町内で

町内でタバコを買っていただいたおかげで、五十五年度は三千三百四十一万二千七十円のタバコ消費税が町の台所に入りました。これからもタバコは町内で買ってくださいます。

結婚



3月長浜町役場届出分(敬称略)
3月のトップは上田謙次・加代子さんのカップル

児保護者一同：石油ストロップ一台を櫛生保育所へ。

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

住 所	氏 名	婚姻届時年齢
大洲市	上田 謙次	(二五)
沖 浦	久保 由子	(二五)
長 浜	中見 千代	(二五)
今 治	兵頭 泰晴	(二九)
下 須 積	久保美智子	(二九)

おくやみ

3月届出分(敬称略)

住 所	氏 名	死亡時年齢
今 坊	東 儀三郎	(七九)
出 海	平野 世民	(七三)
長 浜	佐々木 義治	(三二)
出 海	尾野 四季生	(六九)
青 島	亀井 ハナヨ	(八四)
柴 坊	上満 善作	(九五)
今 坊	高木 シゲル	(七九)
長 浜	鶴崎 ナカ	(七九)
長 浜	濱田 鶴市	(四六)
青 島	増田 長光	(六五)
沖 浦	藤本 アサ子	(五一)
下 須 積	矢野 義明	(七六)
青 島	岡 善三郎	(七七)

鯉のぼりによる感 電事故を防止しましょう。

編集後記

若葉薫る五月の青い空には、ひ鯉、ま鯉が仲よく泳いでいる。入学して、社会人として一か月が過ぎ、また人事異動で新しい人と人との出会い、人生のドラマが繰り広げられている。茶道の教えに「一期一会」という言葉があり、他人との出会いを二つの命の出会いとして、生涯に二度とない、かけがえのないものにしていくように努めること。これが一期一会の心であり、日常会っている人でもこの心をもって接すれば、出会いは更に充実したものになり、私達の人生はさらに豊かなものになるのではないでしょう。微笑をもつて人に接し、挨拶のできる人になりたいですね。ご意見をお寄せください。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人 口	12,857人 (男 6,126人 女 6,731人)	49人減 (23人減 26人減)
世帯数	3,880世帯	11世帯減

